

歴史街道を歩く 美濃路

美濃路は中山道の鹿井宿と東海道の宮(熱田)宿を結び、大垣・墨俣・萩原・福家・清須・名古屋の7宿がありました。中山道と東海道などの五街道に付随する街道として、五街道と同じく幕府の道中奉行の支配下に置かれた。将軍や大名、朝鮮通信使や琉球使節などの大通行や、家、お茶屋などの特殊な通行にも美濃路が利用されました。東海道の難所である鈴鹿峠と、桑名と宮の間の海上七島の渡しを迂回することなどができたかと思われ、また美濃路の起源を裏付ける伝馬印状は残っています。美濃路の一部で中世の鎌倉街道に重なる区間があり、尾張では天正12年ごろ織田信雄が中島郡井口(福沢市井之口)から河室(一宮市萩原宿)に至る幅5(約9m)の幹線道路をつくらせたのが原型となっていると考えられます。中山道や東海道と同様に、江戸時代の初期からおよそ400年の歴史がある魅力の多い街道です。

21 人柱観音

慶長(1596~1615年)のころ、木曾川の支流、小信川の築造の難工事に人柱として流流に身を投じたと伝えられる与三と、高木本陣の築造工事で亡くなった3名をまつる人柱観音が昭和32年(1957年)に開眼しました。

22 宮戸跡

大明神社の前から対岸の新井村(現・羽島市)の瀬川河原への渡し口で、起原の商家が舟の運ぶ船が繋ぎ着くまでをまつる宮戸跡が現存しています。

22 起の大イチョウ

樹高30mほどのいちごの巨木、昭和38年(1963年)愛知県指定天然記念物。

22 起のヤマガキ

野生の柿の大木で、平野部で生育している例は極めて珍しい。昭和42年(1967年)愛知県指定天然記念物。

29 馬頭観音

宝暦13年(1763年)に萩原の馬持12名が免起人になって建立しました。

30 正瑞寺

正瑞寺がある曲がり角には高札場が設置されています。

24 駒塚道標

美濃駒塚の殿様といわれた尾張藩の家老石河佐渡守が名古屋まで駒塚を聞きかした。この道標は、美濃路との追分に慶応3年(1867年)に建てられました。

25 天神の渡し跡

日光川は、かつて木曾川の本流のひとつで、慶長年間(1596~1615年)までここに渡船場があり、天神の渡しといわれていた。日光川の右岸に渡りかたが残り、現在は橋が架かれています。

26 孝子佐吉平の碑

吉原村の住人佐原信右衛門の馬方だった佐吉平は、盲目の母を孝行する息子として評判が高くなり、ある日母を殺害した。佐吉平は母を殺害した罪を悔いて、自ら首を刎ねた。この石碑は、佐吉平の母を殺害した罪を悔いて、自ら首を刎ねた。この石碑は、佐吉平の母を殺害した罪を悔いて、自ら首を刎ねた。

27 萩原宿本陣跡

萩原宿本陣跡は、萩原宿の中心にあり、現在は公園になっています。

28 萩原宿の上間屋跡

萩原宿には上間と下間と2か所間屋跡が残り、上間屋・下間屋といわれ、2日交代で馬の継ぎの業務を行っていました。この上間屋跡は、現在公園になっています。

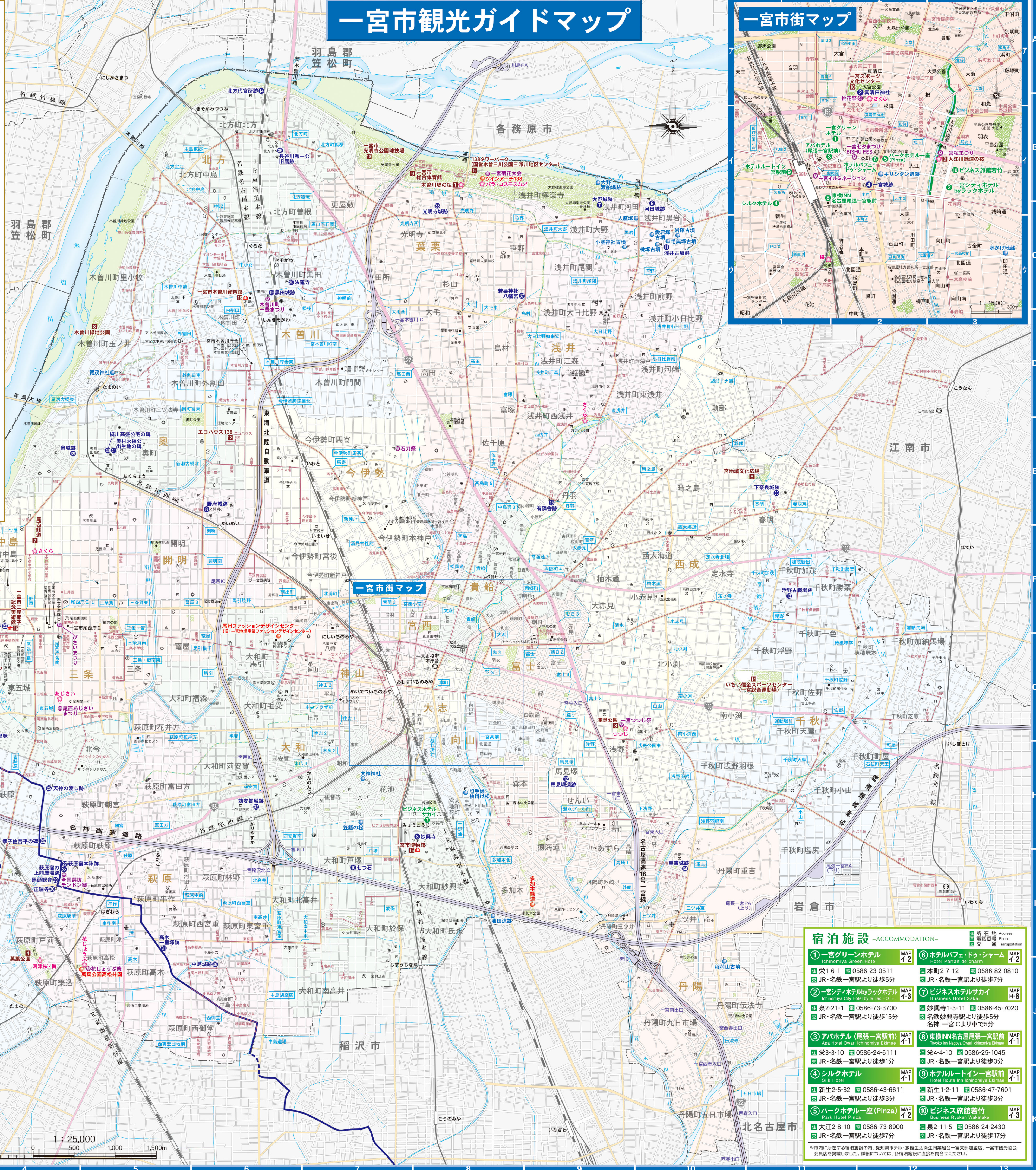
31 高木一里塚跡

明治初年まで道の両側に塚があり、現在は公園になっています。東側には昭和37年(1962年)「一里塚跡」の石碑が建てられました。

- ### 美濃路散策コース
- 16 起渡船場跡(定渡船場跡)
 - 21 人柱観音
 - 16 旧木屋主屋
 - 22 宮戸跡、起の大イチョウ・ヤマガキ
 - 23 披本陣跡
 - 1 起宿原本陣跡・旧林家住宅
 - 17 一宮市尾西歴史民俗資料館
 - 24 駒塚道標
 - 17 富田一里塚
 - 25 天神の渡し跡
 - 26 孝子佐吉平の碑
 - 27 萩原宿本陣跡
 - 28 萩原宿の上間屋跡
 - 29 馬頭観音
 - 30 正瑞寺
 - 31 高木一里塚跡

凡例

○	史跡・開通	○	大学・高校
□	施設・名所	○	小・中学校
△	遺跡・古蹟	○	郵便局
◇	寺・神社	○	図書館
◇	博物館・美術館	○	警察署
◇	名所・旧跡	○	公民館
◇	主文・パノ	○	神社
◇	花の名所	○	寺院
◇	主要交差点	○	主要交差点



一宮市観光ガイドマップ

一宮市街マップ



32 刈安賀城跡

天正12年(1584年)、小牧長久手合戦の際、一時的に築かれた城の一つ。羽柴(後の豊臣)秀吉が犬山城から美濃へ移り、この城を最前線として織田信雄・徳川康元軍に挑んだ。両軍の間で講和が成立すると、城が破られ、河内城に移されたといわれています。

33 下奈良城跡

天正12年(1584年)、小牧長久手合戦の際、一時的に築かれた城の一つ。羽柴(後の豊臣)秀吉が犬山城から美濃へ移り、この城を最前線として織田信雄・徳川康元軍に挑んだ。両軍の間で講和が成立すると、城が破られ、河内城に移されたといわれています。

34 重古城跡

尾瀬源内重古の城と伝えられています。天正12年(1584年)、小牧長久手合戦の際、織田信雄・徳川康元軍の拠点城郭として維持され、清須と小牧を結ぶ連絡路を確保するための役割を担っていました。

35 長谷川一公邸跡

長谷川一公は織田信長の側近で北方で生まれたとされます。現在、旧邸跡の石碑は北方中学校の校門付近にありますが、元々は北方町の東邊にありました。信長の死後、秀一は奥村(現在の奥村)に住んで、越前守の地位を継承しました。信長の死後、秀一は奥村(現在の奥村)に住んで、越前守の地位を継承しました。

39 奥城跡

織田信長・信雄に仕えた梶川高盛の居城です。小牧長久手合戦では、信長の弟中根信康を迎え入れ奥城に籠もるが、羽柴(後の豊臣)秀吉の大軍を前に城を開きました。秀吉は、城将が主君の人物であることから助命し、城兵全員の退城を許したものと推定されます。見学の際は、関係者に了承をください。

40 梶川高盛公宅の碑

梶川高盛は、高秀の子で、父とともに奥村(現在の奥村)へ移ったとされます。天正元年(1573年)、高盛は織田信長に従い、足利義昭に籠もる梶川城(京都宇治市)を攻め、宇治川で先陣を築きました。信長は馬を下賜(かし)されたといわれています。

41 奥村永福公出生地の碑

天正12年(1584年)、越中の佐々成政が、前田利家治める加賀・能登へ侵襲し、守将奥村永福が籠もる末森城を攻め立てました。龍城軍は頑強に抵抗し、ついには利家本陣の援を得て、城を死守しました。信長(現在の奥村)に住んで、越前守の地位を継承しました。

郷土の武將紹介

梶川 高盛 (Takamori Kajikawa) 関連史料 10
奥村 永福 (Okamura Tokumasa) 関連史料 11

長谷川 秀一

1541(天文10)~1624(寛永1)父が、奥村(現在の奥村)に住んだとされ、永福も奥村で生まれたといわれています。天正12年(1584年)、越中の佐々成政が、前田利家治める加賀・能登へ侵襲した際、守将奥村永福が籠もる末森城を攻め立てました。龍城軍は頑強に抵抗し、ついには利家本陣の援を得て、城を死守しました。

浅野 長政

1547(天文16)~1611(慶長16)春日井郡北野村(現在の愛知県北名古屋市)の安井氏に生まれました。織田信長の勇姿を学んだが、長政の娘と結婚し、浅野家の家督を継ぎました。秀吉を相棒としたが、秀吉は相棒にあたり、信長に仕えたのは秀吉の家来として、五奉行を務めました。

郷土の戦国武將 ゆかりの地を巡る

尾張の佐治家として、鎌倉時代以来大活躍を世に伝えた中島氏の居城と考えられています。その子孫が中島氏として居城したが、特定の個人を指すのではなく、この家が官名蔵人を世襲的に用いた。室町時代末期の戦乱で居城になったと伝えられています。石碑は、ニコニコふりあひ停留所「北方城址」西にあります。

37 若葉神社八幡宮

鳥村に生まれた兼松正吉は、織田信長に仕え、桶狭間の初陣以来、幾多の戦いに加わり武功を挙げた。社臣として、信長に仕え、桶狭間の初陣以来、幾多の戦いに加わり武功を挙げた。社臣として、信長に仕え、桶狭間の初陣以来、幾多の戦いに加わり武功を挙げた。

38 光明寺城跡

織田信長の家臣、神戸伯耆守(はつさのかみ)が築城し、後に信長が馬廻衆の山田半兵衛が在城しました。伯耆守は、永禄12年(1569年)伊勢國北畠教長父子の河内城を攻めた夜戦で討死しています。石碑は光明寺境内から北へ約150mの位置にあります。

39 奥城跡

織田信長・信雄に仕えた梶川高盛の居城です。小牧長久手合戦では、信長の弟中根信康を迎え入れ奥城に籠もるが、羽柴(後の豊臣)秀吉の大軍を前に城を開きました。秀吉は、城将が主君の人物であることから助命し、城兵全員の退城を許したものと推定されます。見学の際は、関係者に了承をください。

40 梶川高盛公宅の碑

梶川高盛は、高秀の子で、父とともに奥村(現在の奥村)へ移ったとされます。天正元年(1573年)、高盛は織田信長に従い、足利義昭に籠もる梶川城(京都宇治市)を攻め、宇治川で先陣を築きました。信長は馬を下賜(かし)されたといわれています。

41 奥村永福公出生地の碑

天正12年(1584年)、越中の佐々成政が、前田利家治める加賀・能登へ侵襲し、守将奥村永福が籠もる末森城を攻め立てました。龍城軍は頑強に抵抗し、ついには利家本陣の援を得て、城を死守しました。信長(現在の奥村)に住んで、越前守の地位を継承しました。

宿泊施設 - ACCOMMODATION -

1 一宮グリーンホテル (Ichiomiya Green Hotel) MAP-F-3 室1-6-1 ☎0586-23-0511 JR・名鉄一宮駅より徒歩5分	2 一宮シティホテルラックホテル (Ichiomiya City Hotel by LaC HOTEL) MAP-I-3 室2-2-1 ☎0586-73-3700 JR・名鉄一宮駅より徒歩15分	3 アパホテル(尾張一宮駅前) (Apa Hotel Owari Ichiomiya Ekimae) MAP-I-1 室3-3-10 ☎0586-24-6111 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	4 シルクホテル (Silk Hotel) MAP-I-1 室新生2-5-32 ☎0586-43-6611 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	5 パークホテル(一宮) (Park Hotel Pinza) MAP-I-2 室大江2-8-10 ☎0586-73-8900 JR・名鉄一宮駅より徒歩7分	6 ホテルパフェド・シャム (Hotel Parfaid de cham) MAP-I-2 室本町2-7-12 ☎0586-82-0810 JR・名鉄一宮駅より徒歩7分	7 ビジネスホテルサカイ (Business Hotel Sakai) MAP-H-8 室妙舞1-3-11 ☎0586-45-7020 名鉄妙舞駅より徒歩5分 名鉄一宮Cより徒歩5分	8 東横INN名古屋尾張一宮駅前 (Toyoko Inn Nagoya Owari Ichiomiya Ekimae) MAP-I-1 室4-4-10 ☎0586-25-1045 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	9 ホテルルートイン一宮駅前 (Hotel Route Inn Ichiomiya Ekimae) MAP-I-1 室新生1-2-11 ☎0586-47-7601 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	10 ビジネス旅館若竹 (Business Ryokan Wakatake) MAP-I-3 室大江2-11-5 ☎0586-24-2430 JR・名鉄一宮駅より徒歩17分
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--